







みんなで子育て No.3

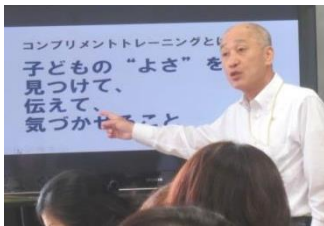
5月のリーダー研修会 家庭教育プログラム (子育てサロン型) の感想

【子育てサロン型の方法・特徴】	【子育てサロン型のメリット】	【子育てサロン型の取組のポイント】
◇小グループの和気あいあいとした雰囲気の中で、互いの経験や悩みなどを交流し、子育てのヒントをつかむ。	◇話をすることによって悩みや不安の軽減、解消ができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができる。 ◇保護者同士のつながりができやすい。	◇少人数(5~8人)で、進行役をおく。 ◇話しやすい雰囲気づくりを心がける。 ◇あらかじめテーマを設定してもよい。 ◇茶菓子等があると、和やかに話ができる ◇体験活動型や講演会型と組み合わせると実践しやすい。
 <p>◆幼・保の部『やる気・自発性』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プログラムは楽しい案です。我が園でもやってみたくなりました。 ○具体例があったので話しやすかったです。 ○「やる気を伸ばす」は交流しやすいテーマでした。 	<p>◆小学校の部『4 自律』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実際に体験することで次に生かせ、「やってみよう」と思う。 ○サロン型は色々意見が出やすいので、お互いの体験等を聞きながら意見交換しました。 ○その家庭での子育てが垣間見れて、すごく楽しかったです。親同士、分かることがいっぱいあると思うので、是非こういう機会にまた参加したいです。 	
 <p>◆中学校の部『9 反抗期』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校に入ってから反抗期に向き合うため色々な意見が聞けて良かった。 ○サロン型の研修の進め方が分かった。 ○他の学校の方の話が聞けたり、どの家庭でもかかえていたりする悩みは一緒だと知り、安心しました。 	<p>◆各所・園・校でサロン形式を取り入れてみましょう。</p> 	

6月の家庭教育学級の実践1

岐阜市立岐阜清流中学校 **コンプリメントトレーニング** (講演会型+サロン型)

開催日: 6月8日 (金)
 ☆講師: 校長 山田隆徳 氏
 校長先生のお話が毎年好評、今年も是非会員にお話をしてほしいとの要望があり、サロン形式を取り入れるなど意欲的



◇今年のテーマ「知る、語る、繋がる」

◆講演のPOINT

- 1 **コンプリメント**: コップに自信の水を入れる。
(ほめる事) 「1日3回やりましょう」
- 2 **愛情**: 「お母さんうれしい」と言う
承認: 「君には〇〇の力がある。」とほめる
この2つを「その時その場で」

※コンプリメントは何歳でもよい。

◎特別支援学級(けやき)のお菓子づくり(見た目も味も立派な出来)との連携もされている。お礼の言葉も参加者が書いて貼り合わると木のような作品になり、掲示に利用できます。



○コメント

・講演前の役員によるアイスブレイクにより、話し合いが非常に盛り上がった。前年より PTA 役員が学び効果を実感しての講演であり、お菓子も含め、校内との連携も良くてきている。



<感想等>・子どもの良いところをあたり前にしてきた自分に気づきました。
 ・今まで褒めて自信をつけるという行動をしていなかったもので、意識してやってみたいと思います。自分も成長すると思って頑張りたいです。
 ・他学年の親さんと一緒だったのでいろんなお話が出来て良かった。

岐阜市立本荘小学校

子育てを楽しもう

(講演会型+子育てサロン型)

開催日：6月18日(月)
☆講師：校長 河井洋子 氏



◆最初に全校集会で、話された運動会やペッパーについて写真を交えて、子ども達の良さを紹介されてから、講演に入られました。
○学校では人間関係作りを大事にしている。
○子育ては いっしょに・一人で悩まない
成長期における特徴や子どもの学年による特性を紹介されました。



◆後半では：アイスブレイクと家庭教育プログラム「わが家の約束 約束作りは責任を教えるチャンス」を利用して、子育てサロン形式で行われました。
ワークシートを使い

- ①子どもに一人部屋を与えることについて ②我が家の約束の実践について
経験のある方は振り返りに、また未経験の方は学びとなり話が尽きません。

<感想等>

- ・みんな同じことで悩んだり困ったりしていることがわかり安心した。自主的に守ろうとすること、親が見本となることが大事。
- ・グループワークがあって話やすい雰囲気ができてよかった。校長先生の優しさやあたたかさを感じることができました。
- ・子どもの話を聞く大切さを感じることができました。

○コメント

校長先生が笑顔で話される内容は、子どもの成長に合わせたもので、専門的な子どもを見る視点でした。
サロンでは委員会により、お茶・お菓子が用意され、どのグループも互いの話にうなづいたり、聞き合ったりして、共感したり、気づいたりして話が終わらない雰囲気です。サロンの良さを感じる会でした。



瑞穂市立南小学校

ハンドマッサージ

(体験活動型)

開催日：6月7日(木)
☆講師：鈴木祐美 氏
依田みき 氏



◇今年のテーマ「かかやき〜笑顔で子育て〜」
南小学校の家庭教育学級は3年生の保護者が会員
◆本日の内容

- ・アロマオイルによるリラックス・安眠効果がある。
- ・手・足・指の反射の部位とリフレクソロジーの体験をペアになって行った。



<感想等>

- ・これから子どもにハンドマッサージをして、交流していきたいと思いました。手がポカポカしてストレス解消できました。
- ・とても気持ち良かった。(オイルの代わりにハンドクリームでもよいということで) 家事の合間でもマッサージが出来ることが分かり良かった。家で子どもにやってみようと思います。

○コメント

・マッサージをしながらコミュニケーションができ、さらに「気持ちいい」という声が多くあり、実践につながりそう。

本巣市立神海幼稚園

親子歯磨き教室

(学校行事参加型+講演会型+在宅取組型)

開催日：6月11日(月)
☆講師
本巣市歯科衛生士
丸毛麻美 氏



◇開催する意図

これまで歯磨き教室を子ども対象に行ってきたが、今年度は先週実施した歯科検診の結果を見た上で、歯科衛生士による教室を親子で行い、意識を高めていきたいとの要望を受け、全保護者対象に開催された。

◆講師から

- ・仕上げ磨きは小3まで続けてほしい。
- ・チョコ、グミ等は虫歯の原因として影響大。
- ・子ども用糸ようじで歯の隙間の掃除をしましょう。大人用はピックが尖っているので要注意。
- ・糖分がない炭酸水も酸性が強いのので歯に良くない。



<感想等>

- ・炭酸水はカロリー0でもpHが低いことに驚き **多数**
- ・仕上げ歯磨きを必ずやろうと思いました。また、「糸ようじ」も大事だと思いました。

○コメント

・非常にタイムリーな話題を意図的に行い、仕上げ磨き・糸ようじ・炭酸水など新しい学びができ充実している。
・歯磨きチェック表を作成し自宅での取り組みにつないでいる。

羽島市立桑原学園

給食試食会・食育講演会

(学校行事参加型+体験活動型+講演会)

開催日:6月12日(火)

☆講師

栄養職員:大澤歩果氏



◇今年のテーマ 未来へ輝け! 我ら学園 子どもの応援団

◆学校給食ランチ会

・小1を中心に各学級で保護者が一緒に給食を食べる。低学年は楽しそう。6・7・8年生は入らない。

◆食育講演会

・校長挨拶:残菜が少ない。アメリカの研究で、食べることを我慢できる子は将来学力が良かったり、社会的に成功したりすることがある。

○講師より

・朝食をとることは学力・体力を向上させる。
・献立は1週間でバランスよく考えている。成長期はカルシウム・鉄分が大事



○コメント

救命講習・授業参観・引き渡し訓練もあり、参加者数が多く、子どもと一緒にいる活動があり楽しそうに微笑ましい。

食育講話は栄養に関する情報があり、学べたという感想が多く聞こえ、特に低学年の保護者には好評でした。

<感想等>

・給食の栄養バランスが考えてあって、子ども達が食べやすいように工夫がしてあって、家でももう少し考えたいと思いました。
・子どもが沢山食べる姿に安心しました。メニュー提案はありがたい。
・普段苦手な野菜を進んで食べている姿が見られてよかった。家では30分ほどかかる食事を20分で食べたのですごいと思った。

山県市立高富保育園

親子で絵本を楽しもう

(学校行事参加型+講演会型)

開催日:6月13日(水)

☆講師:NPO 法人「絵本で子育て」センター

・渡里禎子 氏
・高橋明子 氏



◆読み聞かせ

「ちゅうちゅうたこかいな」「とりのみ爺さん」
大型本「ちいさいきいろいかさ」「スイミー」
を講師が読んだり語ったりした。子どもの素直な反応、つぶやきが良い。

◆講話

・自分が感動した絵本の話(3作)をされ、読み聞かせでは子どもは文を聞いているだけでなく、目で見ながら考えてもいる。読み聞かせは子どもの心を育てている。
・読み聞かせはお母さんがしてあげたい。



○コメント

・絵本の読み聞かせの実演や体験を交えてお話され、楽しさを感じる会。保育参観・試食会も行われ幼児80名に対してほとんどの保護者が参加し、効果大。

<感想等>

・読み聞かせの時の子ども達の夢中な姿に感動です。
・文字だけ読んでいてはわからないことがあり、何度も読んであげたくなりました。
・こんなにいい絵本があるとは知らなかった。もっと探したい。
・「おこだてませんように」は聞いていて泣きそうになった。

岐南町立北小学校

「いのちの授業」

(学校行事参加型+講演会型)

開催日:6月16日(土)

☆講師:お母さんたちの「いのちの授業」ここいく



◆性の勉強は、恥ずかしいことではなく、命をつくるための正しい学びが必要です。とのお話から
・体の成長として:男子 女子の成長について
・心の成長について:言葉の大切さ
・命のなりたち:自分はどうやって
・生まれるには:妊婦さんの赤ちゃんの心臓の音
・おなかの中の成長の様子
・生まれる様子:自然分娩の様子を知る
・絵本 生まれるにはご先祖様がたくさんいるなど多くのことを6年生の児童と多くの親さんとが聞くことで、命の大事さを学びました。



○コメント

委員長さんが保育園で聞いて是非やりたいという事で実現。

性・受精のお話やお腹の中の赤ちゃんの心臓の音や出産の様子を見せるといった詳しい内容で、親子で学べる大事な時間となり、「しっかり学べた」という感想があり好評でした。

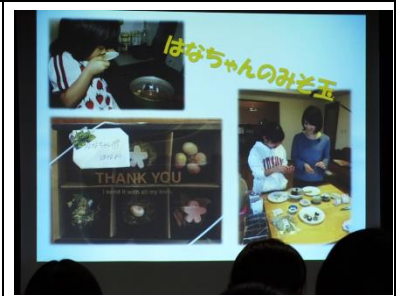
<感想等>

・男の子の体の仕組みを知ったつもりだったが、改めて教えてもらい、もし子どもと話すことがあればしっかり伝えられると思った。今は聞くことも話すことも成長期でうまくいっていない時も多いけど、ゆとりができ、話せるようになったら、女の子の体のことも伝えたい。出産はしたことあるけど見たのは初めて。とてもいい会でした。

開催日: 6月22日(金)
 ☆講師: 弁当の日応援団 in
 瑞穂代表 麓 英里 氏



- ◆講座の位置づけ
 - ・公民館における青少年市民会議がおこなうミニ集会での講演に、小学校の家庭教育学級も食育講座として参加している。回覧板により、地域にも呼び掛けている。中学校の先生も参加されている。
- ◆講演内容
 - ・はなちゃんのみそ汁とみそ玉のお話
 - ・給食を作るところを見よう・学ぼう
 - ・PTA 中心の「お弁当の日」の実践として、生徒会への関わりや、目指す進路が変わったこと、新たな気づきのお話があった。
 - ・「お弁当の日」は自立心・段取り等「生きる力」をもたらしてくれる。



○コメント
 講師の「お弁当の日」の実践に裏付けられたお話が随所であり、子どものためにこの実践があるということが分かるお話。
 夜開催の青少年市民会議の「ミニ集会」で、鷺山地区の地域力の高さを感じ、公民館の次の講座「味噌玉づくり」まで計画されているのがすごい。

<感想等>

- ・豊かすぎて食べ物を粗末にしているんだなと改めてわかりました。食べられることのありがたみを身をもって知るためにも、弁当の日はやってもいいかなと思いました。ある子どもの弁当の日の感想はとても感動しました。我が子もそういうことを感じてほしい。
- ・とてもいいお話でした。「弁当の日」を行うかどうかは別として、改めて親子の関わりを見直し、たくさん子どもと過ごしたいと思いました。

第1回 岐阜地区家庭教育推進会議

平成30年6月20日(水) 会場: 瑞穂市立本田小学校

地域ぐるみで園児・児童生徒を健全育成するための役割と連携の在り方
 —子どもと子ども、子どもと大人のあたたかい人間関係づくり—



第一回 岐阜地区幼・小・中・義・高生徒指導連携強化委員会及び岐阜地区家庭教育推進会議に各市町の家庭教育担当者を含め約80名が参加しました。

1、本田小学校全校集会参観

児童の入場後の姿に進行の子が「静かに待っていて素敵です」との言葉、よい雰囲気を作っていました。全校での合唱練習や3年生の元気の良い歌声披露、委員会の話、振り返りの児童の堂々とした発表とそれに答える上級生の優しい言葉がいいですね。

2、全体会: ・生指連強では共通の取組①あたたかい言葉かけ②居場所と絆づくり交流会③安心ネット啓発活動を行いました。①に関しては県民運動HPで作品を見たり、ダウンロードにより応募ができたりするので、ぜひご参加をお願いします。

・家庭教育学級はカルチャーから子育ての学びや交流が主流、さらに在宅型「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を広げている。家庭教育によって、豊かな感性が培われている部分大きい。

3、小学校6年生全員が分科会に分かれて、「あたたか心を広げよう」と題して意見交流を行いました。

児童「1年生にやさしく教えてあげる。ドッチでボールを譲ったり、楽しくできたりするよう心掛けている。」

児童「登校中、1年生の子が安全に歩いているか見ている。歩く速さも考えている。」

児童「登下校中、見守り隊の人にあいさつする。返してくれるとうれしい気持ちがふくらむ。」

参加者「私は見守り隊をしているけど、私もあいさつしてくれるとうれしいよ。」と、登下校中の地域の人との関わりにあたたか心を感じました。

あるグループでは「お手伝いを自主的にする?」との問いに、児童『「やって」と言われてやり始めるが、その後は自分からすることも多くある。』

参加者から「7人の子がいるが上の子が下の子に分担してやるようになっている。」等々、家庭での様子も互いに交流できた有意義な会でした。

学校・地域・家庭の連携について児童や参加者が感じたり学べたりできる時間となりました。

